

那珂川町図書館

オススメの1冊

『触楽入門』 テクタイル／著 朝日出版社 【141.2 テカ】

ざらざら、つるつる、でこぼこ、しっとり…肌から伝わる感覚のことを、触覚といいます。日頃あまり意識する機会のないこの感覚ですが、実はそこには奥深い世界が広がっているのです。

今回紹介する本は、触覚にまつわる不思議な世界を紹介・解説している『触楽入門』です。

いま、あなたはどんな触覚を感じていますか？着ている服の肌触り、椅子の座り心地、周囲の空気の流れ…。触覚は想像以上に膨大な情報を、私たちに伝えています。例えば水の触感。手を洗ったり、洗濯物が乾いているかどうか確かめたり、お風呂に入ったりと、日常生活の中で水の触感を肌を感じる機会はとても多いです。どのようにして手が「濡れている」という感覚を感じ取っているのか、実はあまりよくわかっていません。昆虫では触角で湿気を検知できるものもいますが、ヒトにはそういった感覚器官が見つかっていないのです。では一体どうやってヒトは水の触感を感じ取っているのでしょうか。この水の触感については多くの企業や研究者が研究を進めており、この本ではその研究や研究結果を応用して開発された技術について紹介しています。

「あたたかい手と冷たい手、人に信頼してもらうにはどちらがいい？」の項目では、2010年にアメリカの科学雑誌サイエンスに掲載されたある論文とその実験について紹介しています。イェール大学のジョン・バルグ博士の研究グループは、被験者を二つのグループに分け、片方にはホットコーヒーを、もう片方にはアイスコーヒーを渡しました。そして知らない人のポートレートを見せて、その人の人格を評価してもらいました。この実験で、手のひらに触れたものの温度が、写真に写った人物の人格判断に影響を与えることが判明しました。では、どのような影響があったのでしょうか。気になる方はぜひ読んでみてください。

他にも「自分で自分をくすぐれないのはなぜだろう？」「人差し指と薬指で冷たいコインに触れると中指まで冷たく感じる？」など、触覚・触感についてのアレコレがたくさん書かれています。テクノロジーが発達した現代、私たちが忘れがちな「触感の世界」に触れてみませんか。

那珂川町図書館(たいこ)